

おおむた 市議会だより

第191号

平成26年度
第3回臨時会 第4回定例会
平成27年(2015年)2月1日発行

インターネット議会中継配信
過去の録画※も視聴できます

大牟田市議会

検索

※平成21年5月以降



スタート猛ダッシュ!
市民健康マラソン大会

【主な記事】

- 議会報告会 寄せられた意見を今後に活かします/ぎかいの話題 (2ページ)
- 大牟田から侍ジャパン! /連載おおむた自慢 (12ページ)

もくじ

■ぎかいの話題 2	■代表質問(4人) 6
議会報告会 寄せられた意見を今後に活かします	高口講治議員、平山光子議員、平山伸二議員、田中正繁議員
議場の放送設備や質問者席をリニューアル	■一般質問(6人) 10
今春の市議会議員選挙より選挙公報を発行	塚本二作議員、古庄和秀議員、大野哲也議員
■本会議運営のあらましほか 4	光田茂議員、平嶋慶二議員、入江裕二郎議員
第3回臨時会、第4回定例会、議案等の審議結果、	■連載 おおむた自慢ほか 12
暴力団壊滅に関する決議	おおむた自慢「大牟田から侍ジャパン!」、編集後記



議会報告会 寄せられた意見を今後活かします

議会報告会での意見要望の概要

■分類①

市行政に関する発言であり、市民の意見として、関係する委員会で継続的に検討を行う方がよいとするもの。検討後は、市当局につなぐか、または委員会として市長等へ要望及び提案を行うことにするもの。その後は、市当局からの回答を求めるもの。

- ・空き地・空き家
- ・エアコン整備

■分類②

市行政に関する発言であり、発言の趣旨を摘録にして議員で供覧を行うとともに市当局につなぐ方がよいとするもの。

- ・エアコン整備
- ・世界遺産登録推進、近代化産業遺産
- ・総合計画・学校再編
- ・学校跡地・学校・教育・PTA
- ・福祉
- ・コミュニティ
- ・防災
- ・道路
- ・道の駅
- ・新大牟田駅周辺
- ・産業・雇用
- ・公共施設
- ・その他

■分類③

議会に関する発言であり、市民の意見として、関係する委員会で継続的に検討を行う方がよいとするもの。検討後は、議会としての考えをまとめるもの。

- ・議会報告会

■分類④

議会に関する発言であり、発言の趣旨を摘録にして議員で供覧を行う方がよいとするもの。

- ・議会報告会
- ・議会・議員の姿勢や取り組み
- ・議員定数
- ・三川坑跡
- ・その他



勝立地区公民館（昨年8月1日）

平成26年度の議会報告会は、9会場で過去最高の延べ270名の参加があり、新たな意見・要望などをたくさんいただきました。

意見は左記のとおりに分類・集約し、特に空き地・空き家に関する意見は、9月の決算特別委員会で最重要の要望として、合意形成を図り、市長へ改善を求めました。

分類①②

行政に関する発言について

分類①の空き地・空き家に関することについては、空き地の樹木や雑草の管理に関する問題や倒壊の危険がある老朽化した空き家などに対する不安から、対策を求める声などが寄せられました。

それらの意見を踏まえ、報告会の翌月に行われた9月議会の質疑・質問や決算特別委員会では多くの議員が取り上げました。

今後、市長からの回答が得られることになっています。

分類②については、「世界遺産登録推進や三川坑跡の保存・活用」の取り組みについては、市民の意識をプラスに変える大きな素材になると思うので、ぜひとも進めてほしい」「三川坑跡の保存・活用については、あまり費用をかけないようにしてほしい」など炭坑関連にまつわる意見、要望などが、数多く寄せられました。

また、「学校再編後の学校跡地の利活用については、総合計画に

入れるべきである」「家庭教育力の向上対策について、真剣に検討が必要であると思う」など学校や教育に関する意見も寄せられました。

分類③④

議会に関する発言について

分類③では「地域の課題や実情を把握するために全校区で議会報告会を実施するなど、開催会場をふやして参加者がふえるようにしてほしい」「議会報告会では、市民が討議を要望する議題を選択してもらいたい」など報告会の回数や内容に対する意見・要望をいただきました。

分類④では「議会報告会の周知は広報紙やインターネットなどで行われているが、若年層へのさらなる周知を検討してほしい」「議会報告会での意見・要望については、その実現に向けて努力し、大牟田市全体の活性化に注力してほしい」など多岐にわたる意見・要望が寄せられました。



議場の放送設備や質問者席をリニューアル



傍聴席から見た議場



独立した質問者席



議長 ネット中継のテロップ

大牟田市議会議場の放送設備が老朽化していることや議会改革・活性化の一環として、昨年11月の臨時会より放送設備と質問者席をリニューアルしました。

老朽化していた放送設備は、デジタル音声補正で聞きやすい音声となり、インターネット中継は、質問者の氏名や所属党派、議長や市長、部長等の役職がテロップで入

るようになりました。

また、議会改革・活性化の一環として、質問者と市長等との距離を近づけ、論戦をより臨場感あるものにしようと、質問者席を議席から独立しました。

今後も、一人でも多くの市民の皆様に関心を持っていただき、傍聴していただけるよう、議会の活性化に取り組んでまいります。

今春の市議会議員選挙より 選挙公報を発行

12月定例会において、大牟田市議会議員及び大牟田市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の制定について市当局から提案があり、全会一致で可決しました。

これは近年の投票率が低下傾向にある中で、有権者への候補者選択等のための情報をふやすとともに、選挙への関心を高め、有権者の投票に係る判断材料のひとつとして活用され、投票率向上の一助とすることなどを目的に、選挙公

報を導入するものです。

昨年12月に行われた衆議院選挙でも選挙公報が全戸配布されましたが、これに準じた形で今年4月に行われる大牟田市議会議員選挙から発行されることになります。

掲載内容は顔写真、氏名のほかに年齢、経歴、政見などで、投票日の2日前までに全戸配布される予定です。

ぜひ手にとってご覧ください。

委員会メモ

ふるさと納税

〔総務委員会〕

昨年12月4日の委員会で、ふるさと納税について報告を受けました。

11月1日から、寄付金に対するお礼の品として地域の特産品を含めた記念品にリニューアルした結果、好評につきリニューアル後の一カ月間で、申し出件数が590件、金額にして6,212千円と大幅に伸びました。

まちづくり基本条例の検討

〔市民教育厚生委員会〕

昨年11月28日の委員会で、まちづくり基本条例市民検討会報告書（条例原案）の説明を受けました。

これは、公募市民27名等で構成する市民検討会で、協働のまちづくりの推進において重要な市民と市の役割、情報の共有、市民参加の推進等を議論して、まとめられたものです。今後の審議のたたき台となります。

全国瞬時警報システム

〔都市環境経済委員会〕

昨年12月5日の委員会で、11月に行われた全国瞬時警報システム（J-ALERT）の全国一斉情報伝達訓練において、システムの不具合が発生した旨説明を受けました。

原因を究明し、対策を講じた上、27年2月（予定）には万全の態勢で再訓練が行われます。

委員会のあり方の検討結果

〔議会改革特別委員会〕

改選後の委員会のあり方について検討を行ってきました。結果、引き続き3常任委員会とし、特別委員会は議会改革特別委員会を継続して設置する考えをまとめました。今後は、その考えを踏まえ議論し、次期議会につなぐことになります。



本会議運営のあらまし

■議員報酬に関する条例を修正可決

第3回臨時会

平成26年度の第3回臨時会は、11月21日に招集され、1日間の会期で運営しました。

臨時会で審議した議案は、市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正等の条例議案6件でした。

議員報酬に関する条例について、修正案を提出し、修正案を含めて、いずれも可決をして本臨時会を閉会しました。

■選挙広報に関する条例を可決

第4回定例会

平成26年第4回定例会は、12月8日に招集され、12月19日までの12日間の会期で運営しました。

定例会で審議した議案等は、3,017万円を追加する一般会計補正予算、大牟田市議会議員及び大牟田市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の制定について等の条例議案など議案34件、暴力団壊滅に関する決議1件、原発再稼働の中止を求める意見書案や

40人学級再検討に反対する意見書案などの発議8件の計43件でした。

本会議では、道の駅おおむたの再建、子ども・子育て支援、地方創生への取り組み、小中学校のエアコン整備等の諸課題について、各会派の代表質問4名を含む10名の議員が登壇し、市長、当局に質問しました。

本会議最終日までに、意見書案の発議4件を除いた議案、決議、発議をそれぞれ承認、可決、同意をして本会議を閉会しました。

暴力団壊滅に関する決議

本市議会は、平和な市民生活を脅かす暴力団の存在を絶対に許すことなく、警察を初めとする関係当局及び市民諸団体と協力して、暴力団追放市民総決起大会の開催など、暴力団の根絶のために全力で取り組んでいるところである。特に、本市に本部を置く指定暴力団「浪川睦会」は、これまで幾度も「道仁会」と抗争事件を起こして、市民を不安と恐怖に陥れており、市民生活への悪影響は甚大である。

こうした中、福岡県警は、全国で唯一「特定危険指定暴力団」に指定されている「五代目工藤会」最高幹部2人を逮捕・起訴し、その後も多くの組員を逮捕されている。

さらに福岡県公安委員会では、本部など事務所4カ所に対し、暴力団対策法に基づく使用制限命令を出すなど「五代目工藤会」壊滅に向けて強力に取り組まれている。

一連の福岡県警並びに福岡県公安委員会の取り組みは、「五代目工藤会」壊滅への力強い一歩であるとともに、暴力団壊滅の機運を大きく向上させるものであり、さらには暴力団の壊滅に取り組んでいる大牟田市民にとっても勇気づけられるものである。

よって、本市議会としては、この機を捉え、今後も関係当局及び市民諸団体との連携を密にし、暴力団壊滅の日が来るまで全力で取り組むことを誓うものである。

以上、決議する。

平成26年12月19日

大牟田市議会

議会日誌（10月～12月）

- 【10月】 7 市民教育厚生委員会
20 議会報編集委員会
27 議会改革特別委員会
29 総務委員会
- 【11月】 7 各派代表者会、議会運営委員会
12 議会改革特別委員会
14 各派代表者会、議会運営委員会
18 各派代表者会
20 総務委員会、都市環境経済委員会
21 第3回臨時会本会議、各派代表者会、総務委員会、都市環境経済委員会、議会運営委員会
28 市民教育厚生委員会
- 【12月】 1 各派代表者会、議会運営委員会
3 市民教育厚生委員会
4 総務委員会
5 都市環境経済委員会
8 第4回定例会本会議〔開会〕、議会報編集委員会
12 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
15 第4回定例会本会議〔質疑質問〕
16 第4回定例会本会議〔質疑質問〕、請願等調整委員会
17 総務委員会、市民教育厚生委員会、都市環境経済委員会
19 各派代表者会、議会運営委員会、第4回定例会本会議〔採決、閉会〕、議会報編集委員会
24 議会改革特別委員会

行政視察受入(10月～12月)

月	日	都道府県	団体名	視 察 項 目
10	3	栃 木 県	小 山 市 議 会	定住自立圏構想について
	16	栃 木 県	日 光 市 議 会	子どもの居場所について
	22	福 井 県	勝 山 市 議 会	地域産業活性化への取り組みについて
11	5	福 島 県	白 河 市 議 会	定住自立圏構想について
	6	長 崎 県	対 馬 市 議 会	議会運営について
	18	茨 城 県	下 妻 市 議 会	議会運営と議会改革の取り組みについて
11	19	新 潟 県	上 越 市 議 会	出張型商店街事業について
	26	青 森 県	八 戸 市 議 会	老朽危険家屋等除却促進事業について

インフォメーション

■次の定例会は2月です

詳細については、議会事務局までお問い合わせください。また、ホームページでもお知らせします。

■傍聴のお知らせ

本会議の傍聴ができます。傍聴席へは、市役所本庁舎中庭入口（1階）または市民生活課（2階）奥の階段からお上がりください。

■インターネット議会中継

パソコンでインターネットがご利用できる場合は、大牟田市トップページの右側の列「大牟田市議会」の下「議会中継はこちら」からご覧ください。生中継の他に、平成21年5月臨時会以降であれば、過去の録画も視聴できます。

■会議録の閲覧

本紙掲載の代表質問と一般質問は、質問議員自らが要約したものです。詳しくは市立図書館、情報公開センターで会議録をご覧ください。2月中旬から閲覧できます。ホームページでも2月中旬から閲覧・検索できます。



平成26年度大牟田市議会 第3回臨時会及び第4回定例会 議案等の審議結果一覧

議 案 等 名			会 派 等 名					無 所 属					賛 成 数	審 議 結 果		
			自民	公明	護憲	共産										
			8人*	4人	5人	3人	入江裕二議員	猿渡軍紀議員	城後正徳議員	吉田孝議員						
第3回臨時会	議 案	第39号	大牟田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例修正案					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
			大牟田市議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について（修正部分以外の部分）					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第40号	大牟田市嘱託員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第41号	大牟田市市長及び副市長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第42号	大牟田市教育委員会教育長の給与、勤務時間その他の勤務条件等に関する条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第43号	大牟田市企業管理者の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第44号	大牟田市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
第4回定例会	議 案	第45号	専決処分について（平成26年度大牟田市一般会計補正予算）					○	○	○	○	○		○	22	全会承認
		第46号	平成26年度大牟田市一般会計補正予算					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第47号	平成26年度大牟田市国民健康保険特別会計補正予算					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第48号	平成26年度大牟田市介護保険特別会計補正予算					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第49号	平成26年度大牟田市後期高齢者医療特別会計補正予算					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第50号	平成26年度大牟田市水道事業会計補正予算					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第51号	平成26年度大牟田市公共下水道事業会計補正予算					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第52号	大牟田市議会議員及び大牟田市市長の選挙における選挙公報の発行に関する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第53号	大牟田市教育に関する事務の職務権限の特例に関する条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第54号	大牟田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第55号	大牟田市行政手続条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第56号	大牟田市職員退職手当条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第57号	大牟田スタートアップセンター条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第58号	大牟田市学童保育所条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第59号	大牟田市子ども・子育て会議条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第60号	大牟田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第61号	大牟田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第62号	大牟田市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準等を定める条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第63号	大牟田市風致地区内における建築等の規制に関する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第64号	大牟田市中学校給食センター設置条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第65号	大牟田市立小学校、中学校及び特別支援学校の体育施設の開放に関する条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第66号	大牟田市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第67号	指定管理者の指定について（大牟田観光プラザ及び新大牟田駅観光プラザ）					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第68号	指定管理者の指定について（大牟田市花ぶらさ館）					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第69号	指定管理者の指定について（大牟田市エコサソクセンター）					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第70号	指定管理者の指定について（大牟田市御大典記念グラウンド、大牟田市管林庭球コート、大牟田市武道場、大牟田市第二市民体育館及び大牟田市第二グラウンド並びに大牟田市延命球場及び大牟田市市民体育館）					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第71号	市道路線の認定及び廃止について					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第72号	財産の取得について（はしご付消防自動車）					○	○	○	○	○		○	22	全会可決
		第73号	財産区管理委員の選任について（櫛野財産区）					○	○	○	○	○		○	22	同意
		第74号	財産区管理委員の選任について（櫛野財産区）					○	○	○	○	○		○	22	同意
		第75号	財産区管理委員の選任について（櫛野財産区）					○	○	○	○	○		○	22	同意
		第76号	財産区管理委員の選任について（櫛野財産区）					○	○	○	○	○		○	22	同意
		第77号	財産区管理委員の選任について（櫛野財産区）					○	○	○	○	○		○	22	同意
		第78号	財産区管理委員の選任について（櫛野財産区）					○	○	○	○	○		○	22	同意
		決 議	発 議	第1号	暴力団壊滅に関する決議案					○	○	○	○	○		○
第28号	原発再稼働の中止を求める意見書案					×	×	○	○	×	×		×	8	少数否決	
第29号	40人学級再開検討に反対する意見書案					○	○	○	○	○		○	22	全会可決		
第30号	山村振興法の延長と施策の拡充を求める意見書案					○	○	○	○	○		○	22	全会可決		
第31号	国民健康保険制度における国庫負担の増額を求める意見書案					×	×	○	○	×	×		×	8	少数否決	
第32号	小規模企業振興基本法に基づく関連計画及び制度の早急な具体化を求める意見書案					×	×	○	○	×	×		×	8	少数否決	
第33号	介護保険の国庫負担割合の引き上げを求める意見書案					×	×	○	○	×	×		×	8	少数否決	
第34号	女性が輝く社会の実現に関する意見書案					○	○	○	×	○		○	19	多数可決		
		第35号	地域の中小企業振興策を求める意見書案					○	○	○	×	○		○	19	多数可決

* 西山照清議員及び城後正徳議員については、当日欠席。

会 派 名 称	所 属 議 員（★は会派代表）
自由民主党議員団	光田 茂★、境 公司、田中正繁、塚本二作、徳永春男、西山照清、森 竜子、山口雅弘
公明党議員団	大野哲也★、今村智津子、塩塚敏郎、平山伸二、三宅智加子（議長）
社民・民主・護憲クラブ	松尾哲也★、平嶋慶二、平山光子、古庄和秀、森田義孝
日本共産党議員団	高口講治★、北岡あや、橋積和雄

■大牟田市議会では、採決に起立採決を採用しています。起立採決は、議長が議案等に賛成の意思のある議員に起立を求めます。反対の意思のある議員の態度を確認することはありません。そこで、一覧表については、起立した会派（または議員）を○と表記し、着席の会派（または議員）を×と表記していますが、×が反対とは限りません。また、空白は欠席または表決の棄権を表します。なお、議長は採決に加わることはできません。



市民の暮らし応援の 新年度予算編成を



日本共産党議員団
高口 講治 議員

12月12日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 市民生活の現状と新年度予算案
 - (2) 業務最適化計画と自治体のあり方、市民サービスへの影響
- 2 空き家・空き地対策について
- 3 道の駅おおむたの再建について
- 4 小規模・家族経営者の支援について
 - (1) 小規模企業振興基本法に基づく本市の対応

市長の政治姿勢について

市民生活の現状と 新年度予算案

問 市民所得は25年度が256万円で県平均より36万円も低い。今こそ消費税増税や実質所得の減少で苦しむ市民を支える政治、予算編成が必要だ。市民生活の現状認識と予算編成の重点を聞きたい。

答 雇用環境の改善から、地元企業の経営も回復基調にあると思うが、一方で実質賃金の減少など市民生活はまだ厳しい。財政健全化、企業誘致や地域産業支援による雇用の確保、子育て支援等に重点を置いた予算編成にしたい。

業務最適化計画と自治体のあり方、 市民サービスへの影響

問 徹底的な業務の外部委託と職員削減計画は、市民サービスや職員意識、自治体機能の低下を招きかねない。行政改革は、職員の技術や知識の継承と共同意識の形成を図り、自治体リストラ（自治体が果たすべき役割の放棄）・官製ワーキングプア（行政がつくりだす働く貧困層）を生じさせない対策と自治体本来の役割を発揮できる仕組みにすべきと思うがどうか。

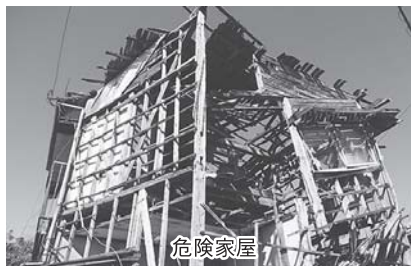
答 今後の人口減少や高齢化に伴う厳しい財政事情、多様化・高度化する市民要求に対応するため、限られた行政資源の中、多様な任

用形態や外部委託の採用、民間技術の活用などで、自治体業務の効率化と市民サービスの向上も可能と考える。また、外部委託を進める際には、様々な課題を把握し、それを解消する形で検討する。

空き家・空き地 対策について

問 空き家問題の解決は、議会の要望でもある。生活環境の整備や市民の危険除去など、公益優先の観点を堅持し、税の軽減制度の創設や強制力を持つ条例制定など、先進自治体の教訓も活かして早急な対応を求めたいがどうか。

答 本市の戸建て空き家は2,853戸、うち危険家屋は405戸。住民の生命・身体・財産の保護、生活環境保全、空き家活用などを目的にした空き家等対策の推進に関する特別措置法に沿った対応を行う。



危険家屋

問 空き家の再利用・再活用に関する対策を聞きたい。

答 本市の戸建て空き家のうち約1,000戸が使用可能。行政と関係団体等で設立した大牟田市居住支援協議会で利活用方法を検討して

いる。また、広く空き家情報を提供するシステムをつくりたい。

道の駅おおむたの 再建について

問 榊花ぶらすが経営困難で解散を決定した。原因として、第三セクターという責任が不明確な運営形態と公募によらない運営会社の選択に問題がある。今後に活かせる総括と対応が重要だ。対応策は。

答 経営悪化の背景に類似施設の出店や商品供給の不安定などがある。経営再建計画に基づく対策をとったが、4年連続単年度赤字となり、市の出資金8,500万円を失う状態。反省点を踏まえ、次期指定管理者に引き継いでいく。

小規模・家族経営者の 支援について

小規模企業振興基本法に 基づく本市の対応

問 同法は、従業員20人以下の小企業が果たす雇用や地域経済など多面的な存在意義を認め、自治体に効果的な支援施策を創出する責任を求めていると思うが対策は。

答 本市の5,745事業所のうち従業員4人以下は62%であり、小規模事業所は地域経済や雇用を支えている。同法は自治体に必要に応じた施策の実行を求めている。今後、国や県、関係機関と連携し、実効性ある施策を検討していく。



子どもを産み育てやすい社会の構築と 新制度に沿った子ども支援の充実を



社民・民主・護憲クラブ
平山 光子 議員

12月12日 一問一答方式により質問

- 1 市長の政治姿勢について
 - (1) 国政の状況と予算編成
 - (2) 道の駅おおむたの役割と花ぶらす館の振興
- 2 子ども・子育ての支援について
 - (1) 大牟田市子ども・子育て支援事業計画
 - (2) 子どもの貧困と支援の充実
 - (3) 就学援助制度の対象拡大
- 3 教育行政について
 - (1) 新教育委員会制度
 - (2) 中学校再編に係る諸課題
 - (3) 公立小中学校の給食実施
- 4 人権が尊重されるまちづくりについて
 - (1) 男女共同参画社会の形成と多様な個性の尊重

子ども・子育ての支援について

大牟田市子ども・子育て 支援事業計画

問 子ども・子育て支援事業計画の制度がわかりにくいとの声が多数聞かれる。入園・入所の申し込み手続等で混乱はなかったのか。

答 児童家庭課と教育委員会学務課で連携し、わかりやすく丁寧な対応に努め、入所手続も順調に進んでいる。今後も混乱がないよう効果的、効率的な情報提供に努めていく。

問 本市の保育料負担については、高いと思われる。最大限の軽減措置を図るべきではないか。

答 子育て家庭に対する経済的負担の軽減は重要であると認識している。軽減措置等、引き続き検討していく。

問 地域型保育事業は、多様なニーズに応えるよう充実していくべきではないか。

答 策定中の子ども・子育て支援事業計画において充足を図りたい。

子どもの貧困と 支援の充実

問 本市の現状、法律を受けての体制整備や取り組みの状況は。

答 市町村ごとの貧困率は示されていない。関係部局が連携しながら

支援していく。

問 子供の成長を一元的に担当する窓口整備が必要ではないか。

答 必要性は理解している。全庁的な組織体制と関わっており、今後の検討課題としていきたい。

問 文部科学省が就学援助の補助対象品目としているクラブ活動費、生徒会費、PTA会費も対象とすべきではないか。

答 他都市の状況や財源等、総合的に検討すべき課題と考える。

教育行政について

中学校再編に係る諸課題

問 中学校再編による宅峰中学校の開校に向け、どのような課題があり、どう対応していくのか。

答 人的な教育環境の充実と再編に伴う通学路の安全確保及び自転車通学についてなどの条件整備に努めていく。

公立小中学校の給食実施

問 小学校の自校調理方式について、教育長の見解は。

答 調理の効率性や財政面で課題もあるが、身近な所での給食づくりのよさがあり、小学校期の自校調理方式は一定の意義がある。

問 来年度の中学校再編と給食開始が重なり不安の声もある。年度初めの開始にこだわらず、万全の準備を整え開始すべきではないか。

答 校長会や学校等とも十分協議、連携を行い、円滑に給食が実施できるよう準備を進めていく。

問 給食費は、市が徴収する公会計へ移行すべきではないか。

答 県内4市が移行。他都市の状況を調査し、メリットやデメリットを検証しながら検討を進める。

市長の政治姿勢について

道の駅おおむたの役割と 花ぶらす館の振興



問 新たな指定管理者による道の駅花ぶらす館の今後の運営に当たっては、経営の改善はもちろんだが、地域住民の思いを大切にしてい

答 地域住民の思いを踏まえ設置されており、本市にとって今後も重要な施設。このことをしっかり伝えて、今後も、地元の意向が反映される施設運営に努めていく。



人が生きる地方創生の取り組みで 地域の活性化と人口増の対策を



公明党議員団
平山 伸二 議員

12月12日 一問一答方式により質問

■ 1 市長の政治姿勢について

- (1) 人が生きる地方創生への取り組み
- (2) 総合的、体系的若者雇用対策の推進

■ 2 生活困窮者自立支援について

- (1) 生活困窮者自立支援法への本市の対応

■ 3 消防団員確保の推進について

- (1) 本市の現状と今後の対策

市長の政治姿勢について

人が生きる地方創生の取り組み

問 人が生きる地方創生に向けて、必要な施策の実現が重要であると考える。人口減少の克服と地域経済の活性化、つまり本市の創生をどう実現しようと思うのか、市長の考えを聞きたい。

答 26年11月、まち・ひと・しごと創生法が成立。地方創生と人口減少の克服に向けた取り組みとして、関係部局の緊密な連携のもと、関連施策を強力かつ総合的に推進するため、大牟田市まち・ひと・しごと創生本部を設置した。国の動向を見ながら必要な情報収集や人口動態など、各種統計データの整理等を行っている。

今後、国・県の総合戦略を勘案し、地域の実情を踏まえ、全市的な視点で本市におけるまち・ひと・しごとの創生を柱とする総合戦略を策定することになっている。

また、各種団体との意見交換で様々な意見をいただいております。今後これらを分析し、少子化対策、雇用対策、地域経済活性化等に国・県との役割分担のもと、鋭意取り組む。

総合的、体系的若者雇用対策の推進

問 地方創生の取り組みの中で、

若者が大牟田に定住できるための方策や雇用をどう創出するのか、市長の考えを聞きたい。

答 若者の定住については、市民意識調査でも明らかであるとおおり、まずは雇用対策が必要である。

新規創業推進、既存企業の活性化、帝京大学や有明高専の活用、医療や福祉施設の集積など、地域の特性を活かした魅力ある就業の場と機会を創出し、若者が本市で働き、住み続けることのできるような環境を整えていきたい。

生活困窮者自立支援について

生活困窮者自立支援法への本市の対応

問 生活困窮者自立支援法が27年4月に施行される。新たな制度に本市はどのように取り組むのか聞きたい。

答 生活困窮者自立支援制度は、現に経済的に困窮し最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある方に、自立相談支援事業など各種の自立を図る支援を実施し、困窮状態から脱却を目指すもの。

生活困窮者は、多様で複合した問題を抱えていることが多いことから、相談窓口を設置して相談支援体制を確保し、各分野の支援機関と連携を図りながら包括的支援を行い、相談者に寄り添った継続的な対応をしていきたい。

消防団員確保の推進について

本市の現状と今後の対策

問 25年12月に消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律が成立した。安心・安全のまちづくりの観点から、消防団員数の確保は大切であり、消防団員の定数確保の状況と現在の取り組み状況、今後の消防団員確保策をどのように考えているのか。

答 同法の制定に伴い、各自治体でも消防団員の確保に向けた取り組みが進められている。

本市では、24年4月に条例を改正し、機能別団員制度の導入、上限年齢の撤廃と市内勤務者の入団を可能にしたことなどで増加傾向に転じている。

本年度は新たに、消防団協力事業所表示制度の導入、高校生消防団の取り組みを実施しており、今後も加入促進事業を着実に推進し、定数確保に向け継続的な取り組みをしていきたい。



消防操法大会の様子



地域間競争に負ければ、人口減少対策が他におくれをとることは必至



自由民主党議員団
田中 正繁 議員

12月15日 再質問からの一問一答方式により質問

- 1 人口減少対策と定住政策について
 - (1) まち・ひと・しごと創生本部の取り組み
 - (2) シティセールスの取り組み
- 2 地域包括ケアについて
 - (1) 地域包括ケアの取り組み
 - (2) 予防医療と介護予防の取り組み
- 3 市長の政治姿勢について
 - (1) 商店の活性化と買い物難民対策
 - (2) 小中学校のエアコン整備
 - (3) 市長公約と総合計画

人口減少対策と定住政策について

まち・ひと・しごと創生本部の取り組み

問 「やる気のある志の高い自治体」として、地方の新たな発展モデルを構築するために、本市は何をもって取り組んでいくのか。

答 十分な雇用、職場をつくることと、定住化のための子育て支援や教育など、色々な施策・事業を盛り込み、大牟田の個性に合ったまちづくりを提案していきたい。

シティセールスの取り組み

問 市をどうやって対外的に売り出すのか。何をもって定住者をふやすのか。戦略と情報発信、また、担当部署の設置はどうか。

答 各部署で情報発信に努めているが、一つにまとめて対応することも課題の一つである。今後、どういうふうに進めていくか、体制整備も含めて、他都市の調査も行い、検討したい。

地域包括ケアについて

地域包括ケアの取り組み

問 地域完結型医療の現状を聞きたい。

答 本市では、救急救命センターとして久留米大学病院や聖マリア

病院、急性期医療として市立病院や天領病院、さらに日常の医療や在宅医療を担う診療所など、それぞれの機能や役割を分担して、お互いに連携していく地域完結型医療に転換が進んでいる。

また、患者の診療計画に基づいて、切れ目のない医療を提供できるよう、地域連携パスを活用している医療機関もある。



問 地域包括ケアシステムの構築が必要だが、今後どう進めるのか。

答 地域包括支援センターのさらなる充実や、自立支援を促す介護予防ケアマネジメントの強化、医療と介護の連携、地域における見守り支え合い体制づくりのための地域住民主体の地域支援ネットワークの構築などに取り組んでいる。

地域包括支援センターの役割が大きくなる中、介護と医療の連携は不可欠である。今後、国が示すような在宅医療・介護連携支援センターを市町村が設置しなければならないこともあり、3師会を含め、連携の組織が一つ加わってくることになる。

市長の政治姿勢について

商店の活性化と買い物難民対策

問 商店の活性化と買い物難民対策の今後の取り組みはどうか。

答 民間での出張商店街事業、出前の移動販売、買い物代行サービスがあり、その状況を関係者、商業者、商工会議所と協議し、連携して課題の解決を図りたい。

小中学校のエアコン整備

問 エアコンの整備に関しての計画作成状況はどうか。

答 26年度中には計画を策定し、議会のほうにも説明したい。小中学校間の公平性も含めて、財政計画との整合を十分に図っていく必要があり、総合的に検討したい。

市長公約と総合計画

問 新大牟田駅周辺の開発が進んでいないが、市長公約達成率90%の考え方は。

答 公約は総合計画に盛り込み、インフラ整備、公共施設、子ども医療費助成など、市民生活に関わる様々な面で進捗が図られている。

新大牟田駅周辺の開発は、アクセス道路など、様々な課題があり、今後、それらをクリアしていかなければならない。



輝く大牟田の再現のため ともに頑張りましょう

自由民主党議員団 塚本 二作 議員

12月15日 一問一答方式により質問

- 1 まち・ひと・しごと創生法の活用と輝く大牟田の再現について
(1) 同法の目的と本市の対応等
- 2 有明圏域定住自立圏（4市2町）のエコタウンエリア化と、まち・ひと・しごと創生法の活用について
(1) 本市の見解と取り組み等
- 3 次期総合計画策定の進捗状況について
- 4 来年度予算編成方針等について

来年度予算編成 方針等について

問 国は27年度、新たに1兆円超の地方創生枠を設ける方針を固めたと報道されている。この場合の本市におけるその用途は。

答 報道はあっているが、どのような内容になるかは、現時点では全く不明。今後、地方財政対策の中で明らかにされると思われるた

め、その動向を注視したい。

まち・ひと・しごと創生法の活用 と輝く大牟田の再現について

問 総理は地域ならではの資源を活かした新たなふるさと名物の商品化、販路開拓の努力を後押しすると述べているが、具体的な内容と本市の対応は。

答 ふるさと名物応援事業として、

ふるさと名物の開発や商品化、販売のための取り組みに対する支援、マーケット調査などに係る費用の一部を国が補助となっている。

本市では、今後とも国の情勢や動向等を注視した上で、制度の活用に当たりたい。



市役所内に知的障害者・ 精神障害者の就労の場を 市民の要望に応える商業政策を

社民・民主・護憲クラブ 古庄 和秀 議員

12月15日 一問一答方式により質問

- 1 大牟田市業務最適化計画とこれからの市民サービスについて
(1) 計画が目指す市役所のあり方と市民サービスへの対応 (2) 計画を進める上での立ち位置
- 2 本市の障害者雇用のあり方について
(1) 障害者採用についてのこれまでの総括 (2) 職場実習の総括と新たな障害種別の採用に向けた取り組み
- 3 これからの商業のあり方について
(1) これまでの商業政策の総括とこれからの商業のあり方 (2) 新しい制度が始まる際の商業への影響
- 4 本市とゆかりのある方々との魅力あるまちづくりについて

本市の障害者雇用の あり方について

問 障害者別枠採用試験の新たな改善点、今後の課題を聞きたい。

答 補聴器や車椅子などの補装具の使用や拡大文字の選択など、可能な限りの受験上の配慮を行っている。より多くの方が受験できるよう、受験資格や受験上の配慮について検討していく。

問 本市では、3年間にわたり知的、精神に障害がある方を対象とした職場実習が実施された。この経験を活かし、チャレンジ雇用という一般企業への就労に向け、一定期間雇用する制度を設けては。

答 全国的には様々な取り組みがある中、知的・精神障害者の雇用は大きな課題。様々な要因を精査し、業務内容も検討していく。

これからの商業の あり方について

問 事業所数、従業員数、年間商品販売額とも減少している中、これまでの商業政策とこれからの商業のあり方を聞きたい。

答 商業を取り巻く環境変化に注視しつつ、事業者や商工会議所などの関係機関が一体となって商業振興の取り組みを進めていく。



誰もが住みなれた地域で安心 して暮らせるまちづくりを 目指すために

公明党議員団 大野 哲也 議員

12月16日 一問一答方式により質問

- 1 誰もが住みなれた地域で安心して暮らせるまちづくりを目指すための方策について
(1) 第11回徘徊SOSネットワーク模擬訓練 (2) 愛情ねっこの活用 (3) 認知症に関する国家戦略の策定 (4) 大牟田版地域包括ケアシステムの構築
- 2 世界遺産登録に係る世界に誇れる大牟田の構成資産について
- 3 観光振興策としてのフィルム・コミッション活動について

認知症に関する 国家戦略の策定

問 今後の本市の認知症対策のビジョンを聞きたい。

答 多職種協働、多世代交流、地域協働という三つの視点で、認知症の方とその家族を地域全体で支え、誰もが安心して暮らせる地域づくりを目指している。今後も、地域や医療、介護、保健、福祉な

どの関係者や市民と一体となって認知症対策に取り組んでいきたい。

大牟田版 地域包括ケアシステムの構築

問 市長が目指す大牟田版地域包括ケアとは、一体どういうものなのか聞きたい。

答 住まい、生活支援、要支援や要介護状態とならないための予防、

医療、介護の充実等を図り、システムを構築して、まちづくりを進めていきたい。

問 オール大牟田で組織横断的に取り組みを進める市長の決意は。

答 地域包括ケアシステムは、地域での生活を支えていくまちづくりそのものであり、行政が一丸となって取り組んでいきたい。



若年層や高齢者への 生活環境整備と スポーツ施設の整備を

自由民主党議員団 光田 茂 議員

12月16日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について (1)衆議院議員総選挙の結果に係る市長の見解等 (2)「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」の世界遺産登録に向けた現況と今後の対応 (3)地方創生への取り組み ■2 若年家族への生活環境支援の取り組みと成果について ■3 生活道路の整備の現状について ■4 教育・福祉行政について (1)小学生の学習態度悪化の状況とこれまでの取り組み (2)小規模特認校の現況 (3)特色ある大牟田の教育 (4)(仮称)子ども課の設置 ■5 文化・スポーツの振興について (1)(仮称)総合体育館建設計画 (2)御大典記念グラウンドの改修 (3)延命球場の改修 (4)諏訪公園イベント広場の施設整備 (5)文化団体への支援

若年家族への生活環境支援 の取り組みと成果について

問 大牟田の将来のまちづくりを語るには、若年家族の安定した定住が不可欠だが、支援の取り組みと成果を聞きたい。

答 25年度から市営住宅の空き家募集にて、新婚・子育て枠を導入し、2カ年で54件の応募があり、7戸の入居が確定している。

(仮称) 総合体育館建設計画

問 26年度から市民体育館基礎調査費が500万円計上されているが、その現況を聞きたい。

答 11月に本市と人口規模が似た山口県防府市の総合体育館ソルトアリーナ防府の視察を行った。また、市民やスポーツ関係者の意見・要望の把握にも努めている。

御大典記念グラウンド の改修

問 29年度に第二種公認検定があるが、今後の計画を聞きたい。

答 同施設の年間利用者は4万人を超え、幅広く市民に利用されている陸上競技場である。整備には多額の費用を要するため、助成制度等を活用し、29年度に公認検定受検ができるよう進める予定。



有明圏域定住自立圏の 推進で圏域に人口の創出を

社民・民主・護憲クラブ 平嶋 慶二 議員

12月16日 一問一答方式により質問

■1 市長の政治姿勢について (1)地方創生と本市の次期総合計画の融合性 (2)有明圏域定住自立圏共生ビジョンの取り組みと本市の構え ■2 本市の福祉政策について (1)今日の幼児・子供の置かれた状態の現状と課題 ■3 安心・安全のまちづくりについて (1)まちづくり協議会の現状と課題 (2)若い世代の参加体制づくりと助成事業の創設 ■4 本市の環境行政について (1)公害に係る環境調査の現状

有明圏域定住自立圏共生ビジョン の取り組みと本市の構え

問 有明圏域内に移住するよう大都市に事務所を設置したらどうか。

答 三大都市圏に活動拠点を置くのも一つの手法であると思うが、圏域自治体の意見を聞きながら、他の取り組みの調査や費用対効果の検証も必要であると考えている。

地方創生と本市の 次期総合計画の融合性

問 大牟田版のまち・ひと・しごと総合戦略と次期総合計画との融合性の基本的考え方を聞きたい。

答 総合戦略は、総合計画の施策事業のうち、まち・ひと・しごとの創生に係るものをまとめたものになると考えている。今後、国・県の動向を見ながら対応したい。

公害に係る 環境調査の現状

問 油漏れ事故や異臭についての苦情を聞いたが、環境調査の現状について聞きたい。

答 県と連携し、各法令に基づき72種の物質や項目の常時定期的監視・調査を行っている。苦情や通報には、現地調査を行い、改善指導等、問題解決に努めている。



人口減少対策により 魅力ある大牟田へ

無所属 入江 裕二郎 議員

12月16日 一問一答方式により質問

■1 地方創生について (1)人口減少問題への見解 (2)子育て支援の取り組み (3)地域経済活性化の事業戦略 ■2 世界遺産登録と三川地区の活性化について (1)世界遺産登録後の来場者予測と受け入れ対策 (2)施設の維持管理 (3)世界遺産登録後のおもてなし (4)三川坑跡整備基本計画の進捗 (5)近代化産業遺産を活用した三川地区の活性化 ■3 市立中学校再編について (1)学校跡地の活用

人口減少問題への見解

問 20歳から39歳の女性の数が、2040年に5割以上減ると日本創成会議で推測されているが、本市では、どう考えるか。

答 この年代の人口は、人口の再生産力をあらわす指標として重要であり、原因は、都市圏への流出、低い出生率と推測している。

多様な年齢層に本市に定住していただくため、雇用をはじめ、結婚、出産、子育ての環境など総合的な対策により、魅力あるまちづくりに取り組んでいく必要がある。

世界遺産登録後の来場者 予測と受け入れ対策

問 世界遺産登録後の宮原坑の来場者数をどの程度予想し、道路の

誘導案内や駐車場、観光案内の対策をどのように考えているか。

答 宮原坑の来場者数は、1日当たり約400人から700人程度を見込んでおり、普通車57台、大型バス5台を収容できる駐車場を整備している。

観光案内は、ガイドの充実をはじめ、情報端末機器を活用した施設案内システム等を検討している。



大牟田から侍ジャパン!

スポーツ都市を宣言している大牟田市。スポーツで汗を流す方も多いでしょう。その中で、野球に打ち込み日本の代表として活躍されているお二人を取材しました。

女子野球を広げる



なかしま りさ
中島 梨紗 選手(28歳)



中島梨紗選手は、I B A F 女子野球ワールドカップ日本代表の投手に選ばれ、みごと優勝。4連覇の快挙となりました。中島選手は、高校2年から連続して日本代表として活躍されています。

銀水小のときは大牟田イーグルスに所属し、橘中から高校、大学と野球を続け、現在、女子プロ野球チームの埼玉アストライアに所属。

「最近、メディアも女子野球を取りあげてくれるようになり、女子野球部がある高校

も増えつつあります。プロも含め野球を続けていける環境がもっと広がってほしい」と女子野球の普及を嬉しそうに話され、その眼差しからは、意志の強さとやさしさを感じました。

女子野球の草分け的存在の中島選手。大牟田の後輩たちのあこがれ、目標となることでしょう。



女子野球ワールドカップ優勝(宮崎開催) 2014年9月

夢はプロ野球選手

あらき ひゅうま

荒木 飛有馬 選手(12歳)



「ピッチング・バッティングともに活躍したい」と抱負を語る荒木選手

銀水小6年、大牟田イーグルスに所属する荒木飛有馬選手。ジュニア野球の最高峰とも言われる12球団ジュニアトーナメントエネオスカップ2014の福岡ソフトバンクホークスジュニアの選手として、また、12歳以下のアジア選手権日本代表として出場するなど、素晴らしい活躍をされています。

将来の夢はプロ野球選手。ホークスの攝津投手のようになりたいと話されました。バッティ

ングでは、流し打ちの技術を高めたいと自分の課題もハキハキ。

最後に市民へのメッセージをお願いすると、「野球は楽しいから、ぜひやってみてください」と精悍な顔つきから、小学生らしい笑顔がこぼれました。



アジア選手権で準優勝
(フィリピン開催)
2014年8月